

氏名	廣井 いずみ
よみ	ひろい いずみ
英字	Hiroi Izumi
プロフィール	臨床心理士、公認心理師。家庭裁判所調査官として少年事件、家事事件に携わる。関西国際大学、奈良大学を経て現職。
職位	特任教授
最終学歴	大阪市立大学大学院生活科学研究科後期博士課程修了
学位	学術博士
所属学会・役職	日本心理臨床学会 日本コミュニティ心理学会 日本犯罪心理学会 日本司法福祉学会 武庫川臨床教育学会
専門分野	臨床心理学、犯罪心理学、コミュニティ心理学、青年心理学
研究テーマ	元犯罪者の社会復帰プロセスと立直り支援、高葛藤両親を持つ子の能動的なライフスタイル形成の支援
主な教育・研究及び社会的活動及び業績	<p>【著書】 非行少年の立ち直り支援 「自己疎外・家庭内疎外」と「社会的排除」からの回復（金剛出版、単著） 2015年 基礎から学ぶ犯罪心理学研究法（福村出版、共著） 2012年</p> <p>【論文 単著】 「居場所」という視点からの非行事例理解（2000） 心理臨床学研究, 18（2）, 129-138. 第2の個体化期において、「橋渡し」としての父を体験すること（2003） 心理臨床学研究, 21（5）, 484-495. コミットメントの視点から見た離婚調停の援助方法について（2006） 心理臨床学研究, 24（1）, 1-11. 環境調整命令に見る非行化のプロセスと立ち直り支援（2012） 司法福祉学研究, 12, 12-30. 子の反社会的問題で悩む母親のイラショナル・ビリーフの変容過程（2013） 司法福祉学研究, 13, 45-65. 非行経験者が援助要請を行うまでの他者との体験過程について：非行経験者の手記の分析から（2018） 奈良大学紀要, 47, 93-107. 犯罪経験者の援助要請研究について望まれる観点—ACEs体験とアタッチメント理論の観点から—臨床教育学論集, 12, 103-113.</p> <p>【社会的活動】 2014年4月から2020年3月まで奈良県スクールカウンセリングカウンセラー 2019年 和歌山家庭裁判所家庭裁判所調査官自庁研修において、非行少年の事例検討会においてコメンテーターを務めた。</p>